



# かがやき

きくがわしりつおがさきたしょうがっこう がっこうだよ  
菊川市立小笠北小学校 学校便り

がっこうきょういくもくひょう  
学校教育目標  
じゅうてんもくひょう  
重点目標

「自信をもち 自分の力を発揮する子」  
「自分をみがく子 ささえ合う仲間」

令和6年9月6日

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果概要

4月18日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。この調査は、毎年小学校6年生と中学3年生を対象に行われています。全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、子どもへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。

### 1 国語・算数の正答率について

全国との比較(◎全国平均を上回る ○ほぼ全国平均 △全国平均を下回る)

教科	平均正答率	領域別					
		言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の言語文化 に関する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
国語	66 ○ 全国 67.7 静岡県 67	○	△	△	◎	○	△
	算数	60 △ 全国 63.4 静岡県 62	○	△	△	◎	
			数と計算	図形	変化と 関係	データの活用	

### 2 学力問題調査結果に見られた本校児童の特徴(○良い表れ △課題)

#### (1) 国語

○「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」問題の正答率が高いです。

→図や情報などから、関係付けて理解することができています。

△「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く」問題の正答率が低いです。

→事実と感想、意見は何かを意識した読みを行い、書く活動を繰り返し行っていきます。

#### (2) 算数

○「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る」問題の正答率が高いです。

→データ読み取りが正しくできています。

△「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」問題の正答率が低いです。

→割合の求め方の学習だけでなく、生活経験と合わせながら算数的感覚を養っていきます。

### 3 児童質問紙に見られた本校児童の特徴

「当てはまる」と回答している児童の割合が高い質問

○「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻におきていますか」

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」

○「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」

○「地域や社会をとうするため何かしてみたいと思いますか」

→学校目標「自分をみがく子 ささえ合う仲間」に向かって、粘り強く取り組み、よさを認め合い共に成長する姿を伸ばしていきます。

4 全国的にみて課題があるとみられる問題

(1) 国語(正答率 本校 54.2% 全国 56.6%)

問題文

「たてわり遊び」に関する高山さんの文章の空欄に、次の条件に合わせた内容を書く。

条件① 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

条件② 下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生にたてわりの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アキょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょにたてわりして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイ上げるようにしています。

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 4年生 みんなが楽しそうであれよかった

正答例

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるところだと思います。

誤答例

たてわり遊びをしている下級生の1年生は、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。このように、みんなたてわり遊びを楽しんでいました。

【誤答例の分析と課題】

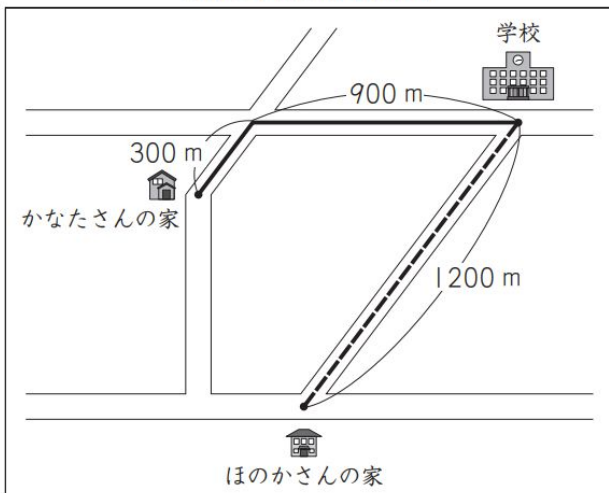
誤答例には、条件①の「たてわり遊び」のよさが書かれていません。条件に合う文章を書いたり、伝える文章を書いたりすることに課題があります。

(2) 算数(正答率 本校 31.9% 全国 31.0%)

問題文

家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。言葉や数を使って書きましょう

家から学校までの道のり



正答例 かなたさん

かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、1200 mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mと同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです

誤答例

- A 道のりが等しいことと、かかった時間を基に、わけを書く
- B かなたさんとほのかさんのそれぞれの歩く速さを基に、わけを書く

A または B が書けていない。

【誤答例の分析と課題】

速さなど単位量当たりの大きさについて考察することや日常の事象の解決に活用できるようにすることに課題があります。